

JAAC だより

～ 日本の新卒者採用事情（最終回）～

—あなたにとっての就職とは—

本誌5月号から『日本の新卒者採用事情』と言うテーマに沿って、「就職する」とは如何なるものなのかについて皆さんと一緒に考えてきました。毎号ごとに副題を付けて、『平成21年度新入社員のタイプは「エコバッグ型」』（5月号）、『「3年4割」の離職の実態』（6月号）、『就職活動は「自分を知ること」から始まる』（7月号）と、回を重ねてお話をしてきました。そして、今回はその最終回を迎えました。そこで、最終回の副題を『あなたにとっての就職とは』と題して、皆さんに語りかけて行きたいと思います。もちろん前号で申しましたように、今回は就職活動の開始時期とその方法、心構えについてもお伝えしてまいりたいと思います。

「就職」とは読んで字のごとく、「職」に「就く」と言うことです。人それぞれによって、「就職」という言葉がもたらす意味は異なるかもしれませんが、共通して言えることは、「就職」とはその人が社会で生きて行く姿を映し出すことではないでしょうか。我々が生きている社会は色々な人々によって構成され、その人々がそれぞれの役割と義務を果たす労働を務めることによって機能していると思います。私達が何気ない一日を過ごす上でも、実際に見える所と見えない所で多くの人々が自らの役割と義務を果たしています。それらの異なる職種の中で、自分は何をする人になるのかということが「就職」によって具現化されるのではないのでしょうか。皆さんは小さい時に、「大きくなったらサッカー選手になりたい」とか、「ケーキ屋さんになるのが夢です」と言って、自分の将来の姿を夢見たことがあると思います。「就職」の原点とは、実はそこにあるのではないのでしょうか。

JAAC生の多くは、留学の志望動機として「将来、・・・のようなことをしたいので留学することにしました」と言って、実際に留学されていますね。それは、自らの将来の夢を実現するために留学を選んだことから、言い換えれば、将来の「就職」のために留学しているとも言えますね。だとすれば、留学を志した時がその人の「就職活動」の始まりだったわけです。もちろん、より具体的であり、且つ、実践的な「就職活動」は大学の3年生になった時点から始めることが大切です。JAACカウンセラーの立場から申し上げますと、現実的な「就職活動」は大学3年次から約2年間を費やして実践することが理想的です。この2年間の中で、「志望職種と企業の情報収集」、「自己診断の確認と再確認」、「面接と試験」、「就職準備」の4つのステージを順を追って実践します。これらは、いつからいつまでと言うようにそのステージごとの期間を区切る必要はありません。あるステージは繰り返しその作業が必要となるでしょうし、また、あるステージは複合的に行われる場合があるからです。

最初のステージである「志望職種と企業情報収集」の段階では、自分が志望する職種を決めながら志望就職先企業のリスタップをし、志望企業への訪問や同企業の説明会等に参加しながら情報収集を行います。「自己診断の確認と再確認」においては、自分が志望する職種が必要とする諸条件や資格を自分自身が満たしているかどうかを確認し、そして、自分自身がその職種に適しているかどうか、また同時にその職種を本当に希望しているかどうかを自問自答しながら自分の意思を再確認します。その上で、実際に「面接と試験」を受けることとなります。そして、内定が決まった時点で最終的な「就職準備」を行うこととなります。もちろん、これら一連の作業は自分一人で行うのではなく、全米各地で開催されるジョブ・フェアなどに参加し、日本人留学生に対する様々な就職支援やサポートを提供してくれる専門のカウンセラーに相談しながら進めることが大切です。ジョブ・フェアなどへは大学3年生になったら必ず参加することをお勧めします。

さて、「あなたにとっての就職とは」何ですか？ あなたの小さい時に抱いた夢の実現ですか、それとも、現実的な生活のための仕事ですか？ それは人によって異なるものですから、どちらでも良いと思いますよ。しかし、新卒者としての「就職」は意外にも大事なものです。最近の傾向では、最初の「就職」先での仕事をそのまま一生の仕事として続ける人は少なくなってきました。いや、自分の意思とは関係なく、その仕事を続けられない環境と現象が交錯しています。そんな社会状況だからこそ、社会で自分の役割をどのように機能させていくのかをしっかりと考えていただきたいのです。それを考える過程の中で、自分自身の「就職」に対する心構えを持ってください。世の中には色々な人がいます。優しい人、ズレイ人、意地悪な人、厳しい人、ヘンな人もいます。でも、社会で生きて行くと言うことは、そういう人たちとも関わりを持つことなのです。性格が悪い人や、ちょっと風変わりな人がいても、その人たちと何とか上手く共存して行かなくてはなりません。その術も一つの“人間力”なのです。どの企業も優れた“人間力”の持ち主を採用したいと思っているんです。(完) (カリフォルニア事務局： 照井)

カリフォルニア通信

(カリフォルニア担当：照井)

【カリフォルニア州の財政危機】今、カリフォルニア州は財政危機に陥っています。今月（7月）2日、同州シュワルツネッガー知事はカリフォルニア州の財政非常事態を宣言しました。カリフォルニア州はアメリカで最も裕福な州と言われ、カリフォルニア州の経済規模を国レベルに置き換えると世界第8位に位置すると言われていました。しかしながら、現在は約28億ドル（約2700億円）の現金不足に陥っていて、州当局から納入業者などへの支払いを一時的に停止せざるを得ない状況です。そのため、カリフォルニア州が債権者に対して将来の支払いを約束する「IOU（借用書）」を発行するという、異例の処置を取ることにになりました。この「IOU（借用書）」は一般市民への税金還付金にまで及んでいます。すでに、同州の財政赤字は今後2年間で240億ドル（約2兆3200億円）に達することが見込まれています。このままの状況が続けば、同州職員への給料もカットされることとなり、さまざまな公共サービスの提供が難しくなります。このことから同知事は2010年6月まで、毎月第1、2、3金曜を大半の州政府機関の休業日とする行政命令も発表しました。但し、州立病院や刑務所、ハイウェイ・パトロールは適用外とされています。いずれにしても、シュワちゃん（シュワルツネッガー知事）がこの危機をどう切り抜けるのか、全米が注目しています。

【"King of Pop"の突然の死】6月25日、マイケル・ジャクソン（Michael Joseph Jackson）がロサンゼルススの自宅で急逝しました。享年50。死因は未だはっきりとはしていませんが、世界中の人々の心に大きなショックを与えたことは間違いないです。葬儀は7月7日にロサンゼルススのステイブルズ・センターで執り行われました。2万人を収容する同センターには抽選で参列入場券を得た一般のファンで埋め尽くされ、マイケルの友人であり著名な歌手や俳優たちが葬儀に参加しました。私生活では色々なスキャンダルもありましたが、彼のアーティストとしての活動は単に優れた、且つまた、新たなジャンルの音楽創造活動に留まるものではありませんでした。彼の存在は常にアメリカに潜む人種差別の壁を崩すがごとく、多くのアフリカ系アメリカ人アーティストをアメリカから世界に向けて生み出す機会を創ってきました。

ミズーリ通信

(ミズーリ担当：ライマン・ピットマン)

【ヤル気の無さは最大の浪費】サウスイースト・ミズーリ州立大学に来る大多数のJAAC生は立派なGPA成績を取得し、留学生としてごく普通の苦勞を強いられています。学習に問題がある少数の人たちは、出席率の悪さというほぼいつも同じ問題を抱えているようです。この傾向は驚くほど首尾一貫していて、これには「原因」と「結果」の2つの要因があるようです。留学に打ち込む気持ちと出席率は同調するもので、真剣に学習に取り組む学生はお金と勉強する機会を無駄にはしません。授業をサボる人はその両方を無駄にしています。時には、学習に取り組む姿勢の欠如が「原因」となり、その「結果」として授業をサボることになります。言い換えれば、その人の「ヤル気（姿勢）」が「行動」を左右するので、残念ながら、授業をサボるという「行動」はその人の「ヤル気（姿勢）」を向上させませんから、依然として学生の学習に対する「ヤル気（姿勢）」は低いままです。授業のサボり癖がさらに授業の欠席に拍車をかけ、その「行動」だけが一人歩きをして長く続くことになります。何回か授業を欠席すると、そのクラスで何をやっているのか理解できなくなりますね。授業が理解できないという気持ちは更にクラスとの関わりを無くす気持ちとなり、それは決して快いものではありません。次回は授業に出よう、という気持ちにはなりませんね。クラスについて行けないと言う思いから、「このクラスはもうダメだな」と実際に口にするようになるまで、それほど時間はかかりません。ミズーリ（SEMO）での経験上、出席問題を抱える学生は英語研修(IEP)を受けている時からすでにこの問題を持っていたように思います。すなわち、初学期か2学期目の8週間の学期中にその兆候が現れます。一度このような問題に陥ると、「結果」はそのクラスを落とすことになり、結局は同じレベルのクラスを繰り返すことになります。これでは気持ちも晴れませんし、達成感を得ることもできません。かと言って、全授業への出席が好成绩を保証するわけではないので、学生はやるべきことをやらなくてはなりません。しかしながら、出席率が悪ければ成績も悪くなり、確実に英語研修(IEP)を長期間受けることになります。したがって、留学生が何かに使おうと考えているお金の額よりも、出席率の悪さにかかる費用の方がはるかに多いのです。

～ コラム： GPA 成績 0.01 ポイントの重み ～

カウンセラーの目から見た GPA

GPA とは Grade Point Average の略で、学生が1単位当たりを取得した評価成績を数値化して表している。最大取得点数は4.00である。A=4、B=3、C=2、D=1、F=0ポイントとGrade Pointを規定し、それぞれ履修した科目の単位数と取得したGrade Pointとを掛け算して、その合計ポイント数を履修単位数の合計で割ったもので、小数点以下第2位まで算出する。例えば、GPA3.25であれば、B=3なので「B」よりも上の成績と読める。また、GPA2.00であればちょうど「C」となり、ギリギリの及第点だ。もし、GPA2.00未満であれば卒業はできない。JAACカリフォルニア事務局では、ほぼ毎年3月から5月頃は心配の多い時期である。ちょうどこの時期に学生の4年制大学3年次への編入可否結果が出てくるからだ。編入先志望校から不合格通知が届いた場合、その書面にはGPAが何ポイント足りなかった・・・とは書かれていない。だから、実際にどの位のGPAが合格ラインだったのかは最後まで解らない。しかし、あと0.1ポイントあれば・・・とつい考えてしまうこともある。当事者である学生にとっては、私たちカウンセラーよりも辛いことだろう。だからこそ、GPAの大切さを解ってもらいたい。だからこそ、普段からの学習の大切さを解ってほしい。あと、0.01ポイントあればGPA数値は確実に上がるのだから。（照井）

Siesta ちょっと、一休みしませんか・・・？

～ JAAC 生が本を出版しました！ ～

今回のこのコーナーでは、この度、JAAC 生の一人が本を出版した話題をご紹介します。

著者は浅井瑞希（あさいみずき）さんと言います。今年3月に高校を卒業されました。高校時代にアメリカ・オハイオ州へ高校交換留学をした経験があり、今年3月からJAAC2009年度生としてサウスイースト・ミズーリ州立大学に留学しています。浅井さんはこの高校留学時代の体験を活かして、ひとつのラブ・ロマンス小説を書き上げました。是非、皆さんも読んでみてください。

スーパースターが惚れた女とは！？

ハリウッドを舞台に繰り広げられる、ラブ・ロマンス

題名：「Just One Deal (たったひとつの約束)」

浅井瑞希（あさいみずき）著

出版：文芸社 四六判・上製・152頁

定価 1,155円（税込み）

Help Line

FAQ

「アパートは通う大学の近くが良いですか？・・・。」

A: 学校の進学や転校に伴ってアパートを探したり、また、新たにアパートを移ることがありますね。その時は、自分が生活の中で最も基本とすることは何なのかを考えてみましょう。例えば、基本的に自炊をする人は食材や生活雑貨品を購入する上で便利な地区に住むと良いですね。特に、日本の食材や雑誌などを購入する人は、それなりの地区がありますよね。また、図書館で遅くまで勉強をしようと思う人はなるべく学校の近くに住むと良いですね。あるいは、友達に住むアパートの近くに住み、何かあれば会って相談をし合える環境を望む人もいることでしょう。でも、一番考慮することは治安だと思います。カウンセラーや色々な友達に相談をしながら、多くの情報を得た上で決めましょう。もちろん、アパート代や光熱費などの費用も算出してみて、ご両親にも相談をして決めましょうね。

【編集後記】 ●2010年新卒者の就職は厳しいだろう。海外大卒業者を対象とした日本企業説明会やジョブ・フェアへの参加会社数も減っている。JAAC生にはこの苦境を乗り切って欲しいと願っている▼7月22日に日本のトカラ列島において日本では1963年以来46年ぶりの皆既日食(A Total Solar Eclipse)が見られる。午前10時52分頃から最大約6分30秒間続き、日食継続時間は今世紀最大だ。次に日本で見られるのは2035年。日食を初めて見た人類はその時何を思ったのだろうか？■カリフォルニア州の財政破綻によって、州政府が一般市民に対してまで借用書(IOU)を発行するとは・・・。日本では起きてほしくない▲確かに留学費用の無駄遣いは大学に支払った授業料の元が取れなかったことだな。いや、取ろうとしなかったことだな。皆さん、親の苦労も分かりますね◆まさかあのMichael Jacksonが急死とは・・・。ニュースを聞いた時は本当にビックリした。そう言えば、かつて私が留学していた時はエルビス・プレスリーが急死したなあ。皆さんはエルビスのことを知っているかな★今年SEMOに行ったJAAC生の一人が小説を書いて出版したと聞いた時も驚いた。近日中に浅井さんの本が届くので、今から読むのが楽しみです+このところあまり報道されなかったが、インフルエンザA(H1N1)の国内感染者数がいつのまにか3,400人を超えた。報道されないからと言って、決して侮ってはいけません✖今年の夏も暑くなりそうだ。やれやれ・・・。(照井)

Let me remind you . . .

★JAAC生の皆さん、保護者の皆さん、何でもお気軽にご相談ください

▲新型インフルエンザ(インフルエンザA(H1N1))における注意喚起：7月15日現在、インフルエンザA(H1N1)の国内感染者数は実に3,400人を超えました。幸いにして弱毒性のものであるため未だ国内感染者の中で死者は出ていません。しかしながら、引き続き皆さんへの注意を促したいと思います。相談窓口や詳細情報は厚生労働省のホームページ(<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou04/>)をご参照ください。なお、留学中の皆さんの中で何らかの体調不良を感じた場合は、直ぐにJAACカウンセラーに相談し、医療機関等での適切な治療と処置を受けるようにしてください。

■帰省中にパスポートや留学(F-1)ビザの更新手続きをされる方へ：夏休みを利用して短期留学をする日本人学生が多いことから、7月と8月は留学(F-1)ビザ取得手続きに要する時間が通常よりもかかる場合があります。十分な余裕をもって更新手続きを行ってください。なお、手続き上のご質問等はお気軽にご相談ください。

★帰省中に就職活動をされる方へ：必要に応じて各企業の就職担当者には必ず連絡が取れる連絡先を伝えてください。また、場合によっては帰省している期間や再渡米する日程等を予め伝えておくとも良いと思います。提出する書類のうち、在籍している大学から取り寄せるものがある場合は、大学側にその旨を伝えて迅速な対応をお願いしましょう。アメリカの大学側も夏休み中は通常とは異なる時間帯で窓口業務を行う場合がありますので、気をつけてください。

●JAAC本部内保護者様専用ご連絡・ご相談窓口：

フリーダイヤル 0120-525-626 tokai@jaac.co.jp 担当：高瀬

◎JAAC日米学術センター 鈴木：t.suzuki@jaac.co.jp ◎カリフォルニア担当：照井 k-terui@mtg.biglobe.ne.jp